

タマリハ 鈴木先生に聞く!

タマリハ新聞

第4号
発行所
多摩リハビリ
テーション学院

日本語のすばらしさを伝えたい

日本語教師の道も考えていた



最初は視能訓練士に興味がありました。いつも一緒に遊んでもらっていた親戚がペーチェット病にかかりある日突然目が見えなくなりました。母と一緒にその親戚のお見舞いに行ったり、二俣川のライトセンター(リハビリ施設)に同行しました。その後、高3で進路を決める際に、どうしても大学に行きたくない理由があつて、専門学校を探していました。書店でガイドブックなどを見ていた時に、はじめて言語聴覚士(当時・言語療法士)を知りました。当時はいつ国家資格になるか分からない状況でしたが、ことば、特に日本語を使って仕事をしたいと思ひ、目指すことにしました。多くの人に言葉の力や、日本語のすばらしさを伝えていきたいと思ひました。

もともと中学生の頃にはバンドブームで、ライブ通いに熱中していました。大切な試験の2日前にライブに行ってしまったこともありましたが、その頃大好きだったバンドの歌詞が「日本語をとんでも大切にしている」と感じたのです。その時から日本語教師の道も考えるほど、ことばや日本語そのものに惹かれていきました。両親は非常に自由で、進路や自分のやりたいことに反対されることがありませんでした。成人式には母から「どうせ着物着ないでしょ?」と言われ、実際姉の着物があるものの着るつもりはありませんでした。17歳の頃からショートヘアのため、女性用タキシードを選びました。非常に目立ちましたが、友人や知人の反応はごく自然でした(笑)。とにかく自分がやりたいように自由にさせてもらったことを、今でも感謝しています。



好きな映画は私立探偵濱マイク。主演の永瀬正敏さんが好き。「好きなことというより日常なのですが、愛姪(現在、大学生)と過ごすのが何より幸せな時間です。」と鈴木先生。姪御さんとは一緒にライブに行くことも。洋服を買いに行くのと、姪御さんは決まって青い服を選んでしまうとか。鈴木先生は決まって黄色を選ぶそうです。「いつも同じような服ばかり買っていると母親(鈴木先生の姉)に怪訝そうにされてしまうので、カモフラージュ的に母親の服も買って帰ったりするんですよ。」と楽しそうにお話してくれました。目に入れても痛くないのでしょうか。



鈴木先生ってこんな人

「姪っ子LOVE」編集後記

尊敬する先生との出会い
教員になる前、臨床で患者様と接するにあたり、表現力について悩んだこともありましたが、恐らく他のSTさんと同様かと思いますが、同じ内容を伝えるにしても、「どう喋るか」「どのように伝えるか」について非常に苦労しました。その後、現在も学院に講師として来られている芦野先生との出会いがあり、その先生のきれいな話し方、ことばの明瞭性に衝撃を受けました。今でもとても尊敬しています。

全国どこにいても
言語聴覚士のサービスを
今後の目標としては、若い世代を育てることです。卒前教育のみならず、卒後教育にも力を入れていきたいと考えています。知識はとも大切ですが、人間は必要に迫られないと他力本願になりがちで、自ら学ぶことが困難です。だからこそ生涯学習を推し進めていきたいのです。また、学生にも卒業生にも「そうぞう力(創造・想像どちらも)」を大切にするように伝えていきます。そして実現が難しいことかもしれませんが、全国どこにいても必要な時に、言語聴覚士のサービスが受けられるようにしたいと考えています。まだまだ有資格者が少なく、マンパワーが不足していますので、多くの方に言語聴覚士を知って欲しいです。

普段からちょっと早口で、非常に明快にお話される鈴木真生先生。誰からも頼りにされるしっかり者です。中高生の時にライブ(野音や日比谷)をひたすら見に行ったというお話は、編集者である私も経験があり、思わず共感してしまいました!また姪御さんについては「本当にめっちゃくちゃかわいくて仕方ない」という印象が強かったです。一緒にライブや買い物に行かれるエピソードなど、微笑ましい光景が目につかびました。また「若い世代を育てたい」という今後の思いについても目を輝かせて話しておられました。とても素晴らしい資格なのに、まだまだ有資格者が少ない言語聴覚士。タマリハ体験会で鈴木先生から、その魅力についてお話を聞いてみませんか?



多摩リハビリテーション学院

作業療法学科・理学療法学科(高卒3年課程) 言語聴覚学科(大卒2年課程)

〒198-0004 東京都青梅市根ヶ布 1-642-1 TEL. (0428)-21-2001 FAX. (0428)-21-2410 JR東青梅駅から徒歩10分

